

# 西根川上流地区治山事業全体計画調査検討委員会

## 【第3回検討委員会 概要】

日時: 令和4年2月25日(金)13:30~15:30

場所: オンライン会議(関東森林管理局会議室等)

### 議事進行内容

- (1) 開会
- (2) 挨拶  
関東森林管理局 計画保全部長  
関東森林管理局 会津森林管理署南会津支署長
- (3) 検討委員会趣旨説明  
関東森林管理局 会津森林管理署南会津支署長
- (4) 出席者紹介
- (5) 座長選任
- (6) 座長挨拶
- (7) 議事
  1. 第2回検討委員会議事確認
  2. 令和3年度の事業実施状況
  3. 令和2年と令和3年の差分解析
  4. 概況調査結果からの今後の事業方針に対する検討
  5. 令和4年度の事業予定
  6. その他
  7. 討議及び各委員からの意見
- (8) 閉会

検討会出席者 別紙1\_出席者名簿のとおり



検討会(オンライン会議(関東森林管理局会場))の状況

## 【委員からの意見】

- 今年度ヘリコプターによる工事を実施しているが、猛禽類の営巣の配慮した事業展開であったのか。多方面での配慮をしなければならないものである。しかし、計画は計画として立てなくては進めないのもので、その時々々の段階において調整が必要であると考えます。
- 条件の厳しい中での事業であるが、下流への土砂流出防止及び田代山(湿原)保全のバランスが大事なのでは。治山事業であるため、下流へ与える影響を考慮し土砂流出を考えて事業を行うこととし、田代山(湿原)の保全については、主目的とはしないで経過観察としほうが良いのではないかと。
- 令和4年度計画(資料5-3)にてコンクリート谷止工の嵩上を検討されているようだが、透過性(スリット構造)なのか。スリット構造により土砂を少しずつ流下させた方が満砂になるリスクが少なくなるのではないかと。
- 下流域への土砂移動を抑止するのは重要である。まずは主目的として地形的に効果が認められそうな箇所での施工が現実的なのでは。さらに上流側では、不安定土砂の上に構造物を施工することとなり、谷地形に沿って地下水が流れているため工事の難易度も高いのでは。積雪の影響により工事期間も限られるため、大掛かりな事業になる。まずは「景観保全」「土砂移動抑止」などの事業目的をはっきりさせること、効果的な工法を整理して検討していく必要があるのではないかと。

## 【オブザーバからの意見】

- 今年度行った藻類散布についても田代湿原近辺に同種の存在が確認されたとの報告があったところなので、次年度以降の藻類散布についても大きな問題無いと思われるが、今後の影響についても確認しながら進めてもらいたい。環境省としても田代山(湿原)の保全のためにも工事を進めて頂きたいところではあるが、周辺の工事も含め景観等に影響が無いとは言い切れないため、事業の内容は適宜共有いただくとともに、工事の効果を検証しつつ効果的な対策を実施していきたい。
- 工事の進捗に合わせて、効果も期待している。現場条件も悪い中ではあるが、今後も予算計上と早急な対策をお願いします。